

住宅のエネルギー性能の表示のあり方 についての提案

平成25年7月12日

一般社団法人住宅生産団体連合会
住宅性能向上委員会

1. 平成24年11月15日省エネルギー判断基準等小委員会合同会議 配布資料

平成24年11月15日

住宅のエネルギー性能の表示のあり方について

～ 社会資本整備審議会建築分科会建築環境部会省エネルギー判断基準等小委員会 合同会議意見 ～

社団法人 住宅生産団体連合会
住宅性能向上委員会
委員長 伊久 哲夫

第3回合同会議における一次エネルギー消費量の評価・表示の方法についての議論を踏まえ意見を提出致します。

住宅のエネルギー性能の表示は一般消費者に理解してもらうことが最も重要であると考えています。一般消費者にエネルギー性能を直接説明すべき立場である（社）住宅生産団体連合会でも、世の中のスタンダードとしてどのような表示方法が最も相応しいか、以下の観点で検討し提案していきたいと考えています。

○理解されやすい表示方法

表示方法は法で規定されるものではないため、法制度運用とはまた別の視点で検討し、住宅の購入者・生産者お互いにとって理解されやすい表示とする

○継続利用される表示方法

将来に渡って継続して利活用され、共通指標として地域・世代・時代を問わず広く浸透させることで、国民の省エネ意識向上ひいては良質な住宅ストックの形成に貢献できる表示とする

○具体的な検討方法

例えば、（社）住宅生産団体連合会に所属する各団体を通じて、一般消費者の声が反映されるアンケートを実施して、住宅の購入者・生産者誰もが直感的に理解できる表示方法を検討・提案していく

以上

2. 一次エネルギー消費量の表示に関する検討実施概要

■ 検討方法

(1) 住宅性能向上委員会における検討

- ・委員会メンバーから提案、意見を募り、アンケート実施内容を取りまとめ
- ・アンケート実施前に表示する事項、単位等の整理を実施

(2) アンケート実施

- ・対象者：住宅等の営業担当者
- ・方法：表示内容と表示例を示し、好ましい順に順位付け
- ・期間：平成25年4月25日～5月17日

(3) 表示方法の提案

- ・アンケートの結果及び意見をもとに提案を作成

■ アンケート内容

一次エネルギー消費量の表示方法に関するアンケート回答用紙

会社名			
年齢	歳	営業職経験年数	年

■ 好ましいと考える表示内容の順位にチェックをつけてください

表示内容	表示の例	順位	ご意見
① デジタル方式 一次エネルギー消費量の設計値と基準値を数値で表す		<input type="checkbox"/> 1位 <input type="checkbox"/> 2位 <input type="checkbox"/> 3位 <input type="checkbox"/> 他	
② アナログ方式 一次エネルギー消費量の設計値と基準値をグラフ等で表す		<input type="checkbox"/> 1位 <input type="checkbox"/> 2位 <input type="checkbox"/> 3位 <input type="checkbox"/> 他	
③ ☆表示方式 一次エネルギー消費量を3区分に区分して☆で示し、同時に設計値と基準値を数値で表す		<input type="checkbox"/> 1位 <input type="checkbox"/> 2位 <input type="checkbox"/> 3位 <input type="checkbox"/> 他	
ご提案がありましたらご記入ください		<input type="checkbox"/> 1位 <input type="checkbox"/> 2位 <input type="checkbox"/> 3位 <input type="checkbox"/> 他	

3. 一次エネルギー消費量の表示に関するアンケート結果

■ アンケート結果の分析（回答数402件）

	表示例	1位の%	主な評価	主な意見	課題
① デジタル方式		21.8%	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的に分かり易い 	<ul style="list-style-type: none"> ・比べる物がなく、数字の意味がわかりにくい ・達成率でないことが混乱しそう 	<ul style="list-style-type: none"> ・見易さという点で支持を受けたが、課題多い
② アナログ方式		28.4%	<ul style="list-style-type: none"> ・比較し易い ・直感的に理解し易い ・一目で分かる 	<ul style="list-style-type: none"> ・基準値に対して良い悪いが一見して分かりにくい ・基準値、設計値の用語が分かりにくい ・使う、作るが分かりにくい ・基準適合などの表現があったほうが良い ・グラフの表現に工夫必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・分かり易いという意見の反面、分かりにくいという意見も多かった →表示例のデザインにより、意見が分かれる結果となっていると考えられる。デザインの洗練による見易さの検討が必要
③ ☆表示方式		48.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・見慣れているので受け入れ易い ・基準への適否が明確でわかりやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・☆ランク以外の違いが分かりにくい ・☆ランク3段階は大雑把 ・☆と一次エネルギー消費量の関係が分かりにくい ・達成率でないことが混乱しそう 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート対象が営業マンであるので、アピールしやすい表示を支持した可能性がある →基準への適否を明示することへの支持も多いため、この部分を生かす

4. 住宅のエネルギー性能の表示に関する提案

■表示に関する基本方針

(1) 表示する情報を①～⑥の項目に特定する

特定した項目の表示をベースとし、その他付加的情報を表示することも可とする

(2) 標準的なデザイン、表示ツールを定める

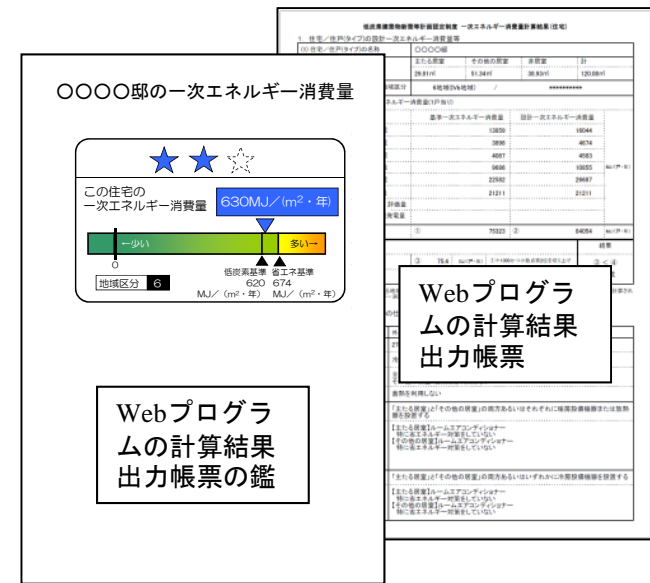
特定した項目を盛り込んだ標準的なデザインを定める

今後の普及促進と表示情報の根拠を明確にすることを目的に、独立行政法人建築研究所（協力：国土交通省国土技術政策総合研究所）の「一次エネルギー消費量算定プログラム（住宅用）」（Webプログラム）に掲載する方向で進める

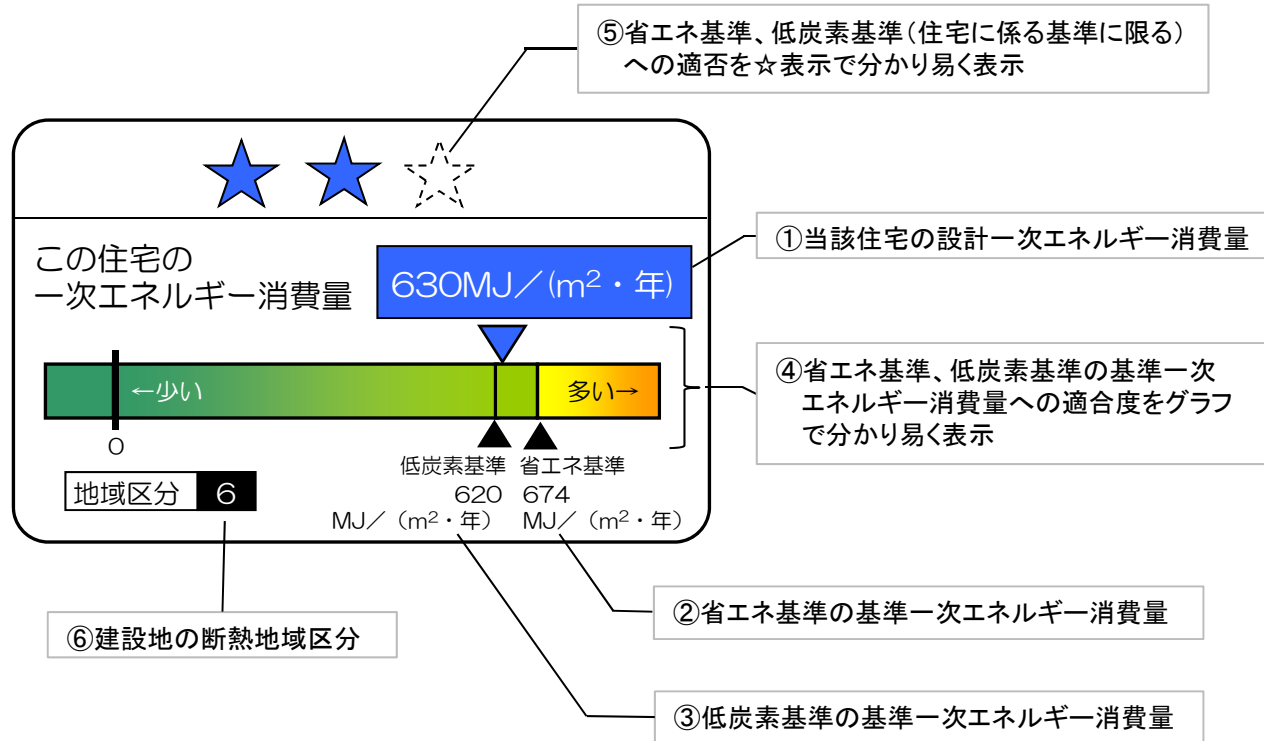
(1) 表示する情報

- ①当該住宅の設計一次エネルギー消費量
単位：MJ／（m²・年）
- ②省エネ基準の基準一次エネルギー消費量
単位：MJ／（m²・年）
- ③低炭素基準の基準一次エネルギー消費量
単位：MJ／（m²・年）
- ④省エネ基準、低炭素基準の基準一次エネルギー消費量への適合度をグラフで分かり易く表示
- ⑤省エネ基準、低炭素基準（住宅に係る基準に限る）への適否を☆表示で分かり易く表示
- ⑥建設地の断熱地域区分

(2) 標準的なデザイン、表示ツール



5. 住宅のエネルギー性能の表示のデザイン例（詳細は今後検討）



凡例：

- ★★★：低炭素基準の住宅に係る基準同等以上
- ★★☆：省エネ基準適合
- ★☆☆：省エネ基準未滿

◇地域区分及び邸別の計算結果により、各一次エネルギー消費量の数値、軸上の三角マーク及び基準を示す線の位置が変化する

◇本例では表示していないが、ZEH基準の表示（太陽光発電等による総発電量を評価した場合）を併用することも可能